

気温 & 圃場の変化に注意して！
こまめなチェックで早めに対処



ワキの発生に注意しましょう！

気温が上がると微生物の働きが活発になり、土中の酸素が急激に消費されます。それにより土壌の還元化が進み、ワキの発生につながります。ワキの多発生は根を痛め、生育停滞につながるため適宜水の更新や夜間落水を行って根の活力維持に努めましょう。

特に有機物の多い圃場は注意が必要です！

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むと気泡が発生する	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡が発生する	根張り不良	水交換
晴天時自然に気泡が発生し、音が聞こえる。	根の伸長阻害・地上部黄化	夜間落水・田干し

夜間落水…夕方に落水して翌日に入水します。風がなく夜間気温があまり下がらない日に行いましょう。

中干しは適期に行いましょう！

《中干しの効果》

①生育コントロール

無効分げつ(穂をつけないムダな茎)の発生を抑制し、健全な稲体を作ります。
過剰生育が抑えられるので、乳白粒・未熟粒が少なくなって玄米品質を高めます。

②根張りが良くなる

水を求めて根が深く張るので倒伏しにくくなります。
また、根を深く張った稲は登熟期の高温に強くなり、玄米品質を高めます。

《中干しのポイント》

①早めにスタートしましょう！『田植え後30日が目安』

中干後も茎数は増えます。目標茎数の8割を確保したら中干し適期です。
(裏面：各品種の中干し開始時期の目安 参照)

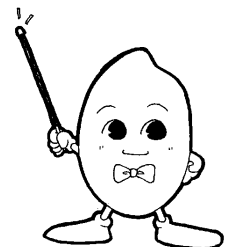
②しっかり干しましょう！

中干しの程度は、小ヒビが入る程度又は軽く足跡がつく程度まで行いましょう。

③溝切りをしましょう！

中干し後の水管理がしやすくなります。また、少ない水でも溝があれば圃場全体にスムーズに行き渡ります。カドミウム吸収抑制対策のための湛水管理、フェーン時の緊急灌水に有効です。

(湿田は2回切りが理想です)



☆各品種の中干し開始時期の目安☆

連休植えは6/5頃には中干し適期になります！

品 種	目標穂数	中干し開始時莖数	50株植え	60株植え
	(本/㎡)	(本/㎡)	(本/株)	(本/株)
コシヒカリ	350	280	18	15
こしいぶき	400	320	21	18
ゆきの精	400	320	21	18
ゆきん子舞	400	320	21	18
あきたこまち	400	320	21	18
ひとめぼれ	420	340	22	19
こがねもち	370	300	20	17
わたぼうし	350	280	18	15

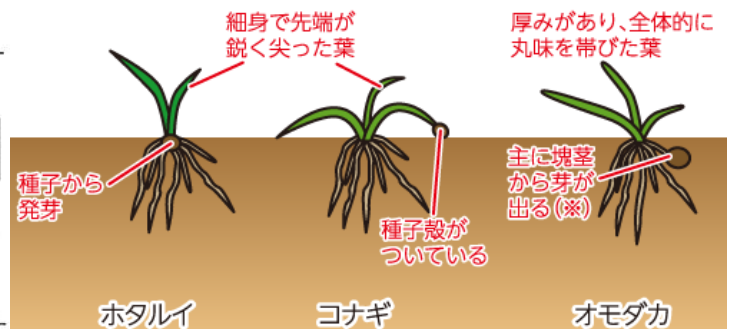
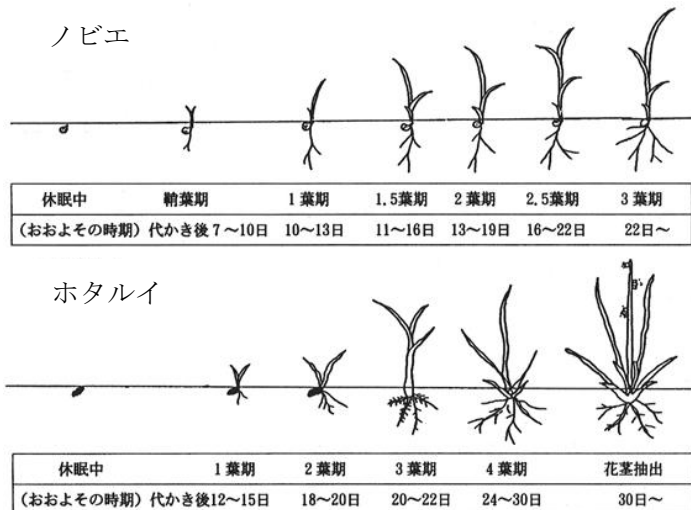
※分けつは昼夜の温度差が大きいとどんどん増えます。

取りこぼした雑草は早めに退治しましょう！

難防除雑草は生育初期には小さく目立たないように隠れて成長しています。圃場と雑草の状態をよく確認して散布適期を逃さないようにしましょう。

【ノビエ・ホタルイの葉齢の進み方】

【ホタルイ・コナギ・オモダカの見分け方】



おすすめ薬剤の購入は別紙『中間追肥・中後期剤申込書』でお申し込みください。予約価格でお得です！

！補植苗はいもち病の発生源となるので速やかに撤去しましょう！

！カメムシ類の防除は雑草管理が重要です。計画的な草刈りで斑点米被害を抑えましょう！

(一斉防除の時期、防除のポイントは別紙「斑点米防止対策」をご参照ください)

水稻栽培記録簿の記帳をお願いします。

栽培記録簿の記帳提出はJ A米の必須条件です。

1回目の提出は、5月末となりますので確実に提出をお願い致します。



JA 北越後 斑点米防止対策 草刈り重点推進期間

第1回 6月2日(土)～6月11日(月)

第2回 6月23日(土)～7月2日(月)

第2回目以降の草刈りは遅くとも「7月末日」までに終了し8月一杯は草刈りを控えましょう。

農道畦畔一斉防除期間

7月7日(土)～7月9日(月)

○草刈りはカメムシの餌となる雑草が結実しない間隔(約3週間)で計画的に実施しましょう。

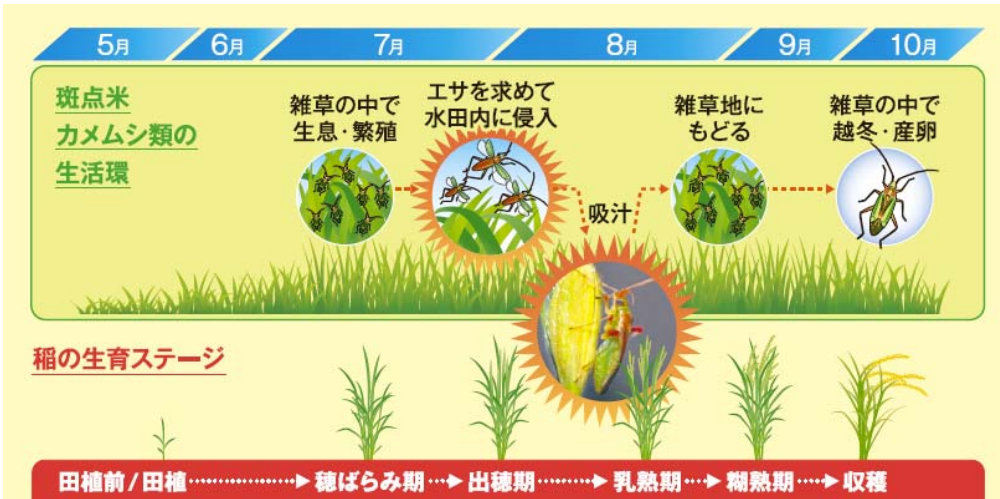
○農道畦畔防除は地域一斉に行うことで防除効果が高まります。



斑点米による格落ちを増やさないために

①出穂期前までの草刈りが重要

カメムシは春先から畦畔などの雑草地を住処に増殖を繰り返します。そのため加害世代の発生前からの駆除が重要になります。



カメムシによる斑点米被害粒

②地域一斉の草刈りが効果的！

カスミカメ類は移動能力が非常に高いため、個人で草刈りをしても近くの草地に一時非難するだけ！地域内にカメムシの生息場所をできるだけ残さないようにしましょう。

草刈りのポイントは高刈り！

イネ科植物の生長点は地際、広葉雑草の生長点は高い位置にあります。そのため地面近くで刈ると広葉雑草は枯れ、斑点米カメムシが好むイネ科雑草ばかりになってしまいます。高刈りなら広葉雑草は摘心されるようなもので、イネ科雑草よりも先に再生してイネ科雑草の増殖を抑えてくれます。また、高刈りはクモやカエルなど、土着天敵のすみかを守ることにもつながるので、カメムシ対策に効果的です。

